

平成23年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

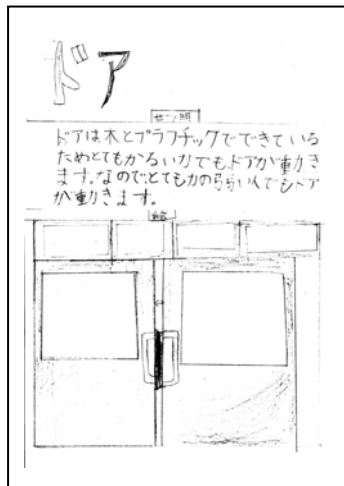
1 学校名	鹿島市立鹿島小学校		
2 所在地	鹿島市高津原 231 番地イ		
3 校長名	松本 真		
4 学級数 児童生徒数	15学級 413人	5 実施学年 児童生徒数	3年 74人

6 取組のねらい

昨年度、新築され校舎内には多機能トイレ、バリアフリーの床、階段手すり、昇降黒板などいろいろな場所に使いやすさが施されている。これらの施設の工夫に気づくことをきっかけに、街の中や日用品、身の回りの UD に関心を高め、みんなに優しいまちづくりについて考える。

7 取組の実際（総合的な学習の時間の取り組み）

児童は、1学期に高齢者福祉施設を訪問したり、2学期には耳の不自由な方との交流を通して手話を学んだりして、人に優しくふれ合うことに取り組んできた。3学期は、上記のねらいで、校舎内探検やインターネットを使って「UD」を学習し、さらに、まち探検をして UD についての認識を深める取り組みをした。探検して気づいたことをまとめる活動を通して、住みやすいまち、使いやすい物づくりについて考えさせた。



↑ 街中で UD を探す
← 校舎内の UD



まち探検の気づき↑

8 取組の成果と課題

普段は見過ごしているところに、たくさんの UD の考えが生かされていることに気づくことができた。まち探検では、近くの店舗にも取材に入り、意欲的に UD を探したことで、身の回りの UD についても調べてみたいという感想が多かった。さらに、もっと住みやすいまち、使いやすい道具についても考えさせた。

みんなに優しい道具や施設が増えることが、これからの福祉社会へ向けて多くの人の役に立つことを学んだ。

